

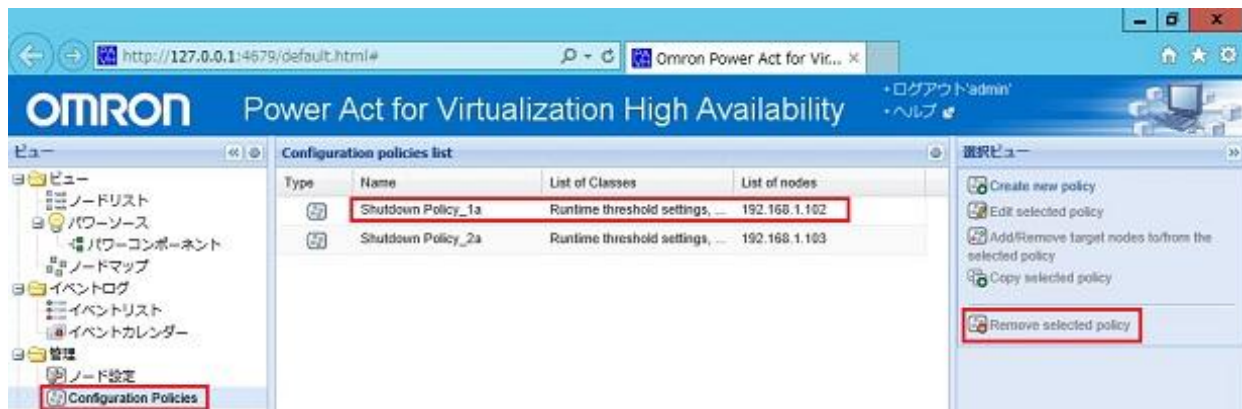
PAVH の構成変更に伴う PAVH/SC20G2 の確認項目について

評価機器の構成を変更する場合（例えば、UPS2 台構成に対して UPS を 1 台追加するなど）、変更前の構成で設定した内容が要因となり変更後の構成で誤動作等が発生しないようにご確認いただきたい内容について、以下に示します。

1. <PAVH>

構成再構築に伴い、変更前の構成用に作成した Policy 及び Action が変更後の構成で誤動作しないように削除する。なお、他の設定については設定事例の記載に基づき既存設定を編集・上書きしていくため削除は不要。

- ① Configuration Policy の初期化：以下の list からポリシーを 1 個ずつ選択して画面右の [Remove selected policy] クリックして全部削除する。



- ② アクションリストの初期化：以下の list からアクションタイプが [ホストの電源動作] になっているリストを 1 個ずつ選択して画面右の [Remove selected policy] クリックして全部削除する。



2. <UPS/SC20G2>

PAVHと同様に、変更前の構成用の設定が変更後の構成で誤動作しないよう無効化する。

なお、他の設定については設定事例の記載に基づき既存設定を編集・上書きしていくため無効化は不要。

(複数の SC20G2 を使用している場合は、それらすべての SC20G2 に対して以下の作業を行う)

① IP アドレスの変更:

SC20G2 の IP アドレスの変更が必要な場合は以下の画面で IP アドレスを変更して保存する。

[SNMP/Web カード管理] ⇒ [SNMP/Web カード設定] ⇒ [SNMP/Web カード IP アドレス]

(ゲートウェイアドレスなど他の項目についても必要があれば変更する)

The screenshot shows the 'SNMP/Webカード管理' (SNMP/Web Card Management) menu with 'SNMP/Webカード設定' (SNMP/Web Card Settings) selected. The 'SNMP/Webカード IPアドレス' (SNMP/Web Card IP Address) field is highlighted with a red box and contains the value '192.168.3.100'. Other fields include MAC address, gateway address, subnet mask, system name, contact, location, battery usage, data log interval, and extended data log interval. A '保存' (Save) button is at the bottom right.

② Ping による監視設定の無効化:

以下の画面の[試験回数]項目を 0 に設定して保存する。

[SNMP/Web カード管理] ⇒ [Ping による監視設定] ⇒ [試験回数]

The screenshot shows the 'Pingによる監視設定' (Ping-based Monitoring Settings) page. The '試験回数' (Test Count) field is highlighted with a red box and set to '0'. Other fields include '会報回数' (Report Count), '送信間隔 (分)' (Transmission Interval (min)), and 'Ping Delay Time (分)' (Ping Delay Time (min)). A '保存' (Save) button is at the bottom right.

③ スクリプトシャットダウンでシャットダウンしたい機器数の無効化:

以下の値を 0 に設定して保存する。

[SNMP/Web カード管理] ⇒ [スクリプトシャットダウン] ⇒ [スクリプトシャットダウンでシャットダウンしたい機器数]

スクリプトシャットダウンでシャットダウンしたい機器数: 0 保存

| No. | 接続機器名 | IPアドレス | ユーザ名 | パスワード | ユー |
|-----|---------|---------------|---------------|-------|----|
| 1 | Storage | 192.168.1.221 | administrator | | |

保存

④ 入力電源異常時の最大バックアップ時間の無効化:

以下の値を 0 に設定して実行ボタンを押す。

[UPS 管理] ⇒ [UPS 制御] ⇒ [入力電源異常時の最大バックアップ時間]

UPSコールドスタート機能: 無効

入力電源異常時の最大バックアップ時間: 0 分

実行

以上